



春風を受けて 出帆



校長 赤松 弘一

3月になり気温が少しずつ上がっています。陽射しは白くまぶしく感じられるようになりました。春の訪れは、まず光の中に感じられます。

学校の中庭にはナズナやキュウリグサなどが小さな花をつけています。これらの花は、地面が霜で凍りつく厳冬の間も、葉を地面に広げてじっと春を待っていました。本当に小さな草花で雑草と呼ばれていますが、これらの草花にも大切な役割があります。まだまだ花の少ないこの時期ですが、暖かい日にはミツバチたちが蜜を求めてやってきます。ミツバチの巣にはもうほとんど蜜が残っていないでしょう。寒さの隙間を縫って、ハチたちは蜜や花粉を集めて回り巣に戻りますが、急な冷たい雨や風に打たれて凍え死んでしまうハチも多いようです。草花たちはハチたちに花粉を運んでもらうことで実を結ぶことができます。寒い冬をじっと耐えてきた草花とハチは互いに助け合いながら、春を迎えます。

さて、3年生は16日の卒業式までに登校する日は6日です。1, 2年生は2週間余りです。3学期は早く過ぎるといいますが、本当にその通りです。

3年生の皆さんの中には、すでに進学先が決まっている人もいますが、これから公立高校の入学試験を受ける人が大半ですね。不安な気持ちで過ごしていることと思いますが、焦らずに落ち着いて入試に挑み、その後の卒業式が中学校生活3年間の最高のフィナーレとなるように、残された日々を大切にしてください。

1, 2年生の皆さんにとって、この学年の変わり目というのは、とても大切な時です。1年生の皆さんは、入学してきたときに比べてずいぶん成長していることを自覚していますか。身長も大きく伸びたことでしょうか、それ以上に小学生時代からは気持ちの上で成長しています。青年期に近付き自立する心が芽生え、自分というものを考え始めます。君たちの表情にその変化が見られます。2年生は来年度、最高学年になります。具体的な進路を考えて、切り拓いていく大切な1年間になります。3年生が卒業してそれぞれの道を歩んでいきますが、1年後の自分の姿をそこに映して、なりたい自分に向けてしっかり歩んでほしいと思います。

広げた帆に春風を受けて、羅針盤の示す君の未来へ向けて海原を進んでください。

